

前橋市社会福祉審議会 第4回高齢者福祉専門分科会 議事録

◆ 日 時 令和5年8月24日(木) 午後1時30分～午後3時5分

◆ 場 所 前橋市役所 6階東会議室 他 ※オンライン参加有り

◆ <出席者> 16人(敬称略)

委員：◎牛久保美津子 (群馬大学大学院)
長谷川亮輔 (群馬弁護士会)
松浦恵 (群馬司法書士会)
岩井丈幸 (前橋市医師会)
○西野郁生 (前橋市歯科医師会)
矢嶋美恵子 (群馬県看護協会)
小林英俊 (前橋市社会福祉協議会)
後閑千代壽 (前橋市老人クラブ連合会)
久保田光明 (前橋市民生委員・児童委員連絡協議会)
黒澤瑞樹 (群馬県老人福祉施設協議会 中毛ブロック)
野中和英 (群馬県介護支援専門員協会 前橋支部)
武井謙介 (群馬県在宅福祉サービス事業者協会)
三俣和哉 (群馬県地域密着型サービス連絡協議会)
石倉京子 (市民公募臨時委員)
剣持鈴代 (市民公募臨時委員)
生方ちはる (市民公募臨時委員)
◎=分科会長 ○=職務代理者

<欠席者> 1人

柳川右千夫 (群馬県老人保健施設協会)

<傍聴者> 0人

◆ 次 第 1 開 会

2 あいさつ

3 委員の変更及び新任委員の紹介

4 議 事

《報告事項》

(1) 第8期まえばしスマイルプランの分析・評価について

①介護保険事業【資料1-1】

②目標への取組状況【資料1-2】

(2) アンケート調査結果の分析について

①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査【資料2-1】

②在宅介護実態調査【資料2-2】

(3) 第9期まえばしスマイルプランの施策目標・事業体系について【資料3】

(4) その他(国の基本指針)【資料4(当日配付)】

5 その他

6 閉 会

1 開 会

五嵐長寿包括ケア課長

- ・委員17人中16人の出席により本分科会が成立していることを報告
- ・会議及び会議録が公開であることを報告

2 あいさつ

(牛久保会長) 今回は、第8期計画の分析・評価や第9期計画策定に向けた各種調査の分析結果と方向性について市から報告がある。2025年問題、2040年問題を見据えたまちづくりが着々と進められていると思うので、皆さんの力もお借りしたい。

3 委員の変更及び新任委員の紹介

4 議 事

(1) 第8期まえばしスマイルプランの分析・評価について

①介護保険事業

- ・【資料1-1】に基づき事務局から説明

<質疑等>

(武井委員) <資料11頁> 計画値と実績値の比較 要因②訪問系サービス利用の増加 について、現場では人手不足で依頼があっても受けられない場合が多い。特に、訪問入浴介護は事業者数が少ない。必要なサービスが行きわたっていないと感じている。

(野中委員) サービス付き高齢者向け住宅等の併設事業所のサービスが増えているのか。

(事務局) いわゆる同一建物減算の実績はまだ拾い上げていない。現場の感覚が実績値と違うということだと思うので、今後分析をする必要があると考えている。

(牛久保会長) <資料14頁> 看護小規模多機能型居宅介護が計画値を大きく下回った理由は。

(事務局) 詳しくは分析しきれていないが、新型コロナウイルス感染拡大が要因の一つだと思われる。

② 目標への取組状況

- ・【資料1-2】に基づき事務局から説明

<質疑等>

(野中委員) <資料5頁> 目標値「支え合い活動助成金の累計申請数」について、どのような助成金なのか。また、令和4年度の実績が無いのはなぜか。

(事務局) 市社会福祉協議会が各町の行う支え合い活動に対して助成を行う予定だったが、事情により開始されなかった。令和5年度からは、設立された町社協に対して助成が行われている。

(矢嶋委員) <資料4頁> 地域包括ケア部会の内容や開催頻度等について知りたい。また、医療と介護の連携強化について、おうちで療養相談センターまえばしへの相談元の職種に偏りがあるとあるが、具体的には何か。

(事務局) 市内12か所ある地域包括支援センターの職員で構成する部会の中に、令和4年度に地域ケア会議部会が新設され、地域ケア会議体制や開催方法の見直しについて話し合われている。基本、月1回のペースだが、参加者が各地域包括支援センターに持ち帰って

課題を検討する時間を要するので、数か月に1回となることがある。

(事務局) 相談元の偏りについては、介護支援専門員からは増えているが、医師やメディカル・ソーシャルワーカー等の専門職からの新規件数は減少している。※資料3頁中段(牛久保会長) <資料4頁> 看取りに関する取組の強化について、講習会以外の対策を検討とあるが、具体的に決まっているものはあるか。

(事務局) 現在、検討中となっている。

(矢嶋委員) <資料14頁> 高齢者の健康づくりにおける介護予防と保健事業の連携にあるハイリスクアプローチについて、総支援件数が18件とあるが、対象となる低栄養のリスク者は何人いたのか。

(事務局) 60人程度。がんや統合失調症、うつ病等の人を除いた75歳から84歳までの健診を受けた人の中から抽出。

(2) アンケート調査結果の分析について

①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

・【資料2-1】に基づき事務局から説明

<質疑等>

(矢嶋委員) <資料30頁> 東ブロックは咀嚼機能低下の高齢者が多いとあるが、歯科医師数と関係するののか。

(西野委員) 東ブロックが特に歯科医師数が足りていないことはないが、市街地の方が歯科衛生についての関心が高いと思う。往診対応が少ないのかもしれない。

②在宅介護実態調査

・【資料2-2】に基づき事務局から説明

<質疑等>

※特に無し

(3) 第9期まえばしスマイルプランの施策目標・事業体系について

・【資料3】に基づき事務局から説明

<質疑等>

(久保田委員) 目標 I 1) (3) 民生委員・児童委員による相談・見守り体制の充実 について、地域の相談や見守りは民生委員以外にも自治会や介護サポーターなどの地域の担い手みんなで行うもの。この視点を加え、地域の多様な主体による支え合いづくりの推進と一体的な内容にして欲しい。

(事務局) ご意見は承知している。生活支援体制整備の推進の中で、民生委員との連携という視点も意識した内容としたい。

(後閑委員) 老人クラブ加入率の低下、民生委員の後継者不足、認知症の人の増加など、様々な課題がある中で、地域で支え合える社会の実現に向け地域全体で考えることが大事。前橋に住んで良かったなと思えるようにして欲しい。

(岩井委員) 地域共生社会の実現や災害対応についても記載する必要があるのか。

(事務局) 現行の第8期計画から国の基本指針に従って記載している。第9期も目標値は定められないが簡潔に記載したい。

(牛久保会長) 事務局提案の施策目標・事業体系で、今回の意見を踏まえながら、第9期スマイルプランの策定を進めていくことでよろしいか。

(委員一同) 《承認》

(4) その他

・【資料4(当日配付)】に基づき事務局から説明

<質疑等>

※特になし

5 その他

<次回の開催について>

(事務局) 次回は令和5年10月26日に前橋市役所11階北会議室で開催予定。詳細は後日お知らせする。

6 閉会

(小坂福祉部長)

前橋市は施設・居住系サービスの被保険者1人あたりの給付月額が全国・群馬県平均よりも低くなっているが、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅等が多いのも一因となっていると思う。訪問介護も含めてさらなる分析が必要だと感じた。また、在宅介護実態調査で老々介護の割合が引き続き高いことが分かった。その他、国全体で介護分野はもちろん、運送業等の他分野でも労働者の確保は大きな課題となっている。そういった視点からも市として何かできるかを検討する必要がある。

次回以降は広い会場となるので、他の職員も顔を合わせた議論ができると思うので、引き続きお力添えを願いたい。

以上